

## ～ 【 勉強の方法って? 】 ～

1学期が始まり2週間目に入りました。新しい教室、新しい友達、新しい先生。子どもさんは新しい環境に馴染んだでしょうか。授業風景を見回りながら、どの教室にも適度な緊張感があると感じています。このままの雰囲気が持続すればいいですね。勉強は「勉めて」「強いる」と書きます。意図的に自己をきつい目に追い込むのが勉強です。ある程度の緊張感は学習が成立するために大切なことだと思います。

特に1年生は、いろいろな場面で小学校との違いに出会い、戸惑うことも多々あるのだと思います。また保護者の皆様もきっと同じ思いだと思います。



そこで1年間の始まりの時期でもあり、今日は「勉強の方法」について書いていこうと思います。昔、担任をしていた頃、家庭訪問すると大半の家庭で出された話題が「うちの子どもは勉強の方法が分かっていません。」ということでした。そして「勉強の方法が分かれば勉強するのですが。」と仰いました。

結論から言いますと、誰にでも当てはまる勉強の方法なるものは存在しません。生徒一人一人に個性があり、理系が得意な生徒、文系が得意な生徒、勉強は苦手だが運動系が得意な生徒、感性が豊かで芸術系が得意な生徒、手先が器用で技術系が得意な生徒、千差万別です。当然、これをこうすれば勉強が分かるようになる、というような全国共通のマニュアルは存在し得ません。

ただ勉強(家庭学習)の「手順」はあるのでは、と思っています。

## ～ 【 勉強の手順 】 ～

ここでは家庭学習の「手順」の例を紹介します。中学校の授業は内容が高度な分、授業中タブレットでどんなに楽しく、みんなとワイワイやりながら学んでも、家庭学習できっちり復習していかなければ「知識」「学力」として定着していくことはできません。

## ☆手順1：決まった時間、決まった場所で。

まず家庭学習の時間、場所をきちんときめてください。一度決めたら絶対それを守らせてくださ

い。習慣化するまできついですが、慣れたらどうということはありません。「勉強は歯磨きと同じ」です。やって当たり前、の家庭文化をつくってください。

## ☆手順2：頭を切り替え、集中する。

机に向かったらまず雑念を鎮めることが大切です。ノートを出して、頭に浮かんでくる雑念を文字として書き出します。この作業をしているうちに、自然に雑念が消えていきます。10分くらいで十分です。

## ☆手順3：その日の授業を思い出す。

まずその日の時間割を書き出してください。

## ☆手順4：学習した単元を思い出す。

次にそれぞれの教科で何の単元を学習したのか思い出して書き出してください。

## ☆手順5：分かったことは何かを書き出す。

それぞれの教科、単元で分かったこと、記憶に残っていることをどんどん書き出してください。

## ☆手順6：分からなかったことを書き出す。

次によく分からなかったことを書き出してください。

## ☆手順7：評価する(保護者)

子どもさんが手順5、手順6を書いたらご家族で見てください。そしてよかった点、心配な点を教えてあげてください。また、手順6で書き出されたことは、先生に質問に行くなり、教科書で調べるなりして必ず解決するようにご指導ください。(どのように解決して定着していくのか、この点が生徒一人一人によって異なります。)

以上、学習の手順の一つの例を紹介しました。ポイントは「書き出す」という点にあります。学習内容というものは、往々にしてあるのが、「分かったか分からないか」が分からない状態です。

その不明瞭な状態から脱し、理解を確

実なものするために「文字にして書き出す」ことはとても有効です。最近の勉強・学習論でも「アウトプット」の重要性が説かれているのは、こうした効果があるからです。

今回は1年生をイメージして書きましたが、これはどの年齢、学年でも応用できる学習手順です。勉強したくてもどこから手をつけていいか分からず悩んでいる3年生がいるとしたら、試しにこの手順を踏んで受験勉強を始めてください。大切なことは「勉強は歯磨きと同じ」と心得ることです。

